

2024年7月12-13日 日本肝臓学会（姫路）のパネルディスカッションで石井政嗣は 肝細胞癌に対する肝切除と肝移植の長期成績の検討を発表いたしました。

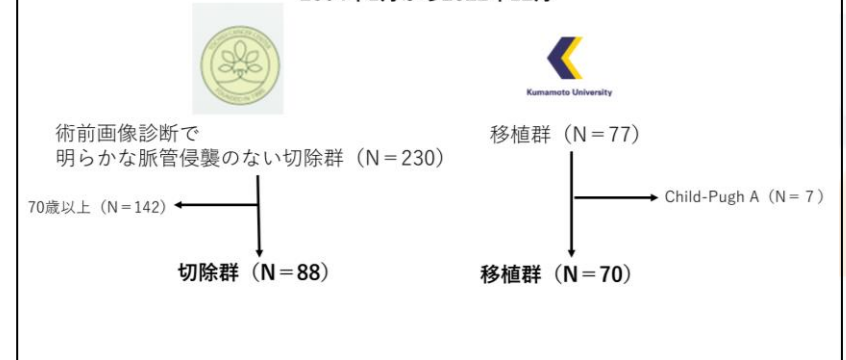


肝細胞癌に対する 肝切除と肝移植の長期成績の 検討

- 1) 栃木県立がんセンター 肝胆膵外科
- 2) 熊本大学 総合臨床研究部
- 3) 熊本大学 小児外科・移植外科

石井政嗣¹⁾、森永潤²⁾、三木厚¹⁾、白川博文¹⁾、富川盛啓¹⁾、
尾澤巖¹⁾、菱沼正一¹⁾、尾形佳郎¹⁾、日比泰造³⁾

2004年1月から2022年12月



本研究は熊本大学で肝移植施行の実績・経験と栃木県立がんセンターでの実績・経験に基づき、独自の視点で行った研究です。

移植外科の先生方が多く集まる中、栃木県立がんセンターの肝切除の成績と熊本大学の肝移植の成績の発表の他、ディスカッションでは、各施設の医師の移植に対する認識の違いなどについて熱く議論をて、大変刺激になりました。

なお、本研究は現在、論文執筆中であり、近々発表予定です。（石井）